

あなたのご家族（兄弟・姉妹・父母・祖父母）に八中の卒業生がいたら見せて下さい。

変わる社会 「江戸時代の寺子屋」 現代社会では、義務教育の基に子弟の教育が行われていますが、江戸時代はどうだったのでしょうか。士農工商というのは身分上下と云われましたが、実際には単に仕事分けであったようです。ですが、武士が特権階級であったことには変わりはありません。

子弟の教育に於いては、武士でも上級クラスは藩校に通い、そうでない者は家庭教師のようです。一般の商人・職人・農家の子たちは「寺子屋」に通いました。①先生には武士・僧侶・学者などが主流ですが、実際には様々な職業の人が先生となり、先生は師匠と呼ばれ、師弟関係となっていました。

（現在のような教育課程を卒業した先生ばかりではなかった。）②場所は今のような学校の姿ではなく、人数により様々な所で行われ全国に15,000位あったそうです。③指導は、現在のような一斉教育（同じ年の生徒を集めて一同に教える）ではなく、生徒の能力に応じた個別指導でした。ですから生徒の年齢もまちまちでした。落ちこぼれは少なく、それでも駄目な場合は、武道武術の訓練主体とか。④生徒は20人～30人位、多い時は先生の数を増やした。⑤授業は8時から始まりお昼ご飯をはさみ（勿論、給食はないので、弁当か家に帰る）、そして2時頃まで行われた。

寺子屋の教育方針は、「生きる為の知識・人間形成」が目的であり、上級進学の為ではない。教育は人間として生きていく為であるので、社会や世渡りを含めた内容となる。①5～8歳：日常生活の挨拶や言葉遣い、目上の人との接し方などのコミュニケーション能力の向上が基本②9歳：立ち居振る舞いなど公的礼儀作法の習得③10歳～15歳：手習い（読み、書き：草書・行書・平や片仮名、算盤）その他には、往来物（主に昔の書簡のやりとりを書いたもの）の音読。職人・商人には「庭訓往来」、農民には「農民往来」などがあり、職業別のビジネス実務と云えよう。現在との比較検討も必要か。

船越小だより 挨拶はみんなをつなぐ魔法の言葉

船越小学校では、「日本一の挨拶がこだまする学校」を目指して、挨拶に取り組んでいます。私も朝、正門に立って子供たちに挨拶をしています。4月当初は少し元気がありませんでした。でも、今はどの子も気持ちのよい挨拶をしてくれます。「日本一の挨拶」と聞くと、「元気のよい大きな声」を想像いたしますが、船越小学校の自慢は、「顔を見て目を合わせて」挨拶してくれる子がたくさんいることです。そういう誠実さがある子供がたくさんいることを、本当にうれしく思います。

「挨拶はみんなの気持ちをつなぐ魔法の言葉」です。日本一の挨拶が広がることで、すべてのふなっこの気持ちがつながっていくとうれしいです。また、挨拶だけでなく、授業や休み時間にも、しっかり目と目を合わせ、相手のことを大切に思って話ができるふなっこを育てていきたいと思っています。私たち教職員も同様に、子供たちに誠実に挨拶していきたいと思っています。

（登校時の挨拶や声掛け）

浜松市立船越小学校 校長 南瀬 悦司



「同窓会だより」掲載記事募集

- ①クラスOB会・部活OB会などの写真とお便り
- ②私の会社紹介：氏名・何回生・写真・お便り
- ③私のお店紹介：氏名・何回生・写真・お便り
- ④同窓会への意見や要望

八幡中学校同窓会事務局 代表 白井 鉄男
連絡先：〒430-0928

浜松市中区板屋町612-402

FAX：(053) 489-6391

ironman29@hotmail.co.jp

八幡中学のホームページに「同窓会だより」のコーナーがあり、スマホやパソコンで見られます。
皆様の友人や同級生にも教えてあげて下さい。この「同窓会だより」は毎月発行します。